



大宝の並木道

■幹事長の挨拶

久保明子

二十六年度のUTA会・セミナーがスタートします。決意も新たに、これからのセミナーをUTAの輪に繋げられるような参加にしていきたいと思います。

四月、山々は新緑、若葉が燃

えるように輝いています。大阪の地、大宝は、ハナミズキの花が満開です。美しい並木道は住む人、訪れる人の心を和ませてくれます。日に日に暖かくなり、外に出るのもうれしい季節です。

ちょうど三年前、ハナミズキの咲く五月に、私達は大宝に移り住んできました。その時、空気のきれいさと懐かしいこの地を、学んでこられた方には一度は訪れてほしいと思いました。その思いが、小さなホール（クボハウス一階ホール）として大宝のクボハウスの一階に、五月一日オープンすることになりました。既に、ここではUTAブック主催のWEB瞑想会が予定されています。また、WEB等で学べる機会ができました。

既にご存じかと思いますが、

有馬で数回行われたセミナーも少人数の参加になっています。田池先生ご夫妻の年齢を思うと、交通手段も時間もあまりご負担にならない現状のホテルと小ホールだと思い、ここで、小セミナーを企画しています。大宝のホールの勉強会の時も、宿泊できるホテルをご案内できるよう思案中です。企画されている一つの小セミナーが「愛の水と正しい瞑想」、これまで分かっているようで、自己流でやってきた人も総点検の機会になれば良いですね。愛の水の作り方、効果的な飲み方を学び、体も元気で、そして、正しい瞑想ができるような、そのようなセミナーが予定されています。少人数の

セミナーです。参加者は抽選で？とも考えています。

これまで大阪の南の大宝から田池先生は退職後三十年近くセミナーを続けてくださったことを思いますと、本当に頭が下がります。今もご高齢にもかかわらず、精力的にご考察され、いつ休まれるのかと、余計な心配と思いつつも休養を取ってほしいと思うこの頃です。UTA会セミナーを今日まで続けてお世話を見せてもらったのも多くの方のご協力があつてこそと感謝しております。後残された四回のUTA会セミナー、共に、共に喜んで参加してまいります。



UTA会風景

■第十八回UTA会の開催状況

二〇一三年十二月十五日から十七日まで、琵琶湖グランドホテルで第十八回UTA会が開催され、約七百六十名の会員が参加されました。

今回は、本『あなたは愛です』の出版記念セミナーということで、UTAブックさんから愛の靴下を、また、田池先生から愛の湯呑みが抽選で百個プレゼントされました。

初日は久保幹事長の挨拶に続き、田池先生より「今回の勉強は『あなたは愛です』という本を、最初は頭で知識として理解していただき、それから、いろいろ勉強していく中で自分は愛だという確信を得るようになっていきたいと思います。それが生ま

れてきた目的です。ところが人間はずーっと長い長い間、誰一人そのことに気付くことがなかった。口では神の愛とか、人類愛とか言いますが、その方々は一人も本当の愛の意味が分かっていないんです。過去、うまく人生を終わった人は一人もおりません。私は全部調べています。現在生きている人も死んだ人も全部調べています。皆さんもダメです。だからこれから勉強して、死ぬまで元気で勉強して、自分が愛だと目覚めてほしいんです。これだけです」という話から始まりました。そして、もらった靴下で皆さんリングテストを行いました。

その後、一班から十五班までの組み分けがありました。そして、まず水の実験に自信のない人が前に出て、リングテストを行い、それから、

一班・二班というように二組ずつが前に出て田池留吉に心を向ける瞑想を行いました。そして、すべての組が出終わって、宇宙のパワーを求めてきた人ということで、大勢の人が前に出て瞑想を行いました。一日目の最後に、一斉に田池留吉に心に向けての瞑想がありました。

二日目は、午前中は瞑想・親睦の時間で各自がそれぞれの場所で過ごされました。

午後からは、田池先生の講話に続き、セミナー参加が三回以内の人で何か勉強のことで聞きたいことがある人ということで、五名の方が前に出て波動の勉強がありました。その後、プレゼントの愛の湯呑みの抽選があったあと、前日に続き、二組ずつが出て波動の勉強がありました。

途中、田池先生から「ほとんどの人が己偉いんです。母親をバカにして自分が偉い。そのくせにパワーを求める、人を支配しようとするタイプと、それから、お金とか、肉の幸せとか、喜びとか、そういうことばかりに走って何にも感じない、俗にいう心が貧弱な人。人によっては、とんでもない、私は理性がある、教養もある、だから感じないと言いますが、それは嘘ですよ。そんな教養とか理性とか、どっから来るんですか。誰が決めたんですか。教養とか理性とか言うのは、お母さんの温もりが分かってから言ってく下さい」というような話がありました。

そして、一班から十五班の以外の人が出て、総崩壊の勉強があり、二日目が終わりました。

三日目は、田池先生から「田池留吉に合わせるとぐあーと出てくるんです。ただ出てきてワーワー喚くだけではいけない。そういう人は反転、反転とは愛の力です。愛のエネルギーです。皆さんは愛だから愛のエネルギーが出るんだから気張れと言いませんけれど、いつぱん反転とやってみる。だんだんそれをやると、だんだんだんだん反転力が出てくるようになっていく。日頃勉強もせんのに反転とやっても何も出ませんよ。私も反転と、ふうとやれるのに八十七年かかったんです。我が人生はすべてこのためにあつたんです。だから難しい。だけど一生懸命やったら私のように八十七年かかりませんよ」というお話を交え、前日と同じく二組ずつ前に出ました。そして、途中、田池陽子さんが呼ばれて皆で波動の

勉強や、塩川香世さんが呼ばれ皆で波動の勉強もありました。

そしてまた、湯呑みの追加抽選があつたあと、抽選番号で当たらなかつた人や指名されなかつた人で希望する人が前に出て、総崩壊の勉強が何度かありました。

最後は、田池先生の異語で故郷の歌があり、そして、塩川さんを通して「私たちは何のために生まれてきたのでしょうか。何のためにこの肉体をいただいたのでしょうか。そして今、何のためにここに集っているのでしょうか。どうぞ、愛に目覚めてください。愛はあなた方です。愛は私たちです。私たちは宇宙とともに愛に向けて次元移行を着々と進んでいます……」というメッセージで、三日間のセミナーが終わりました。

■第十九回 UTA会の開催状況

二〇一四年三月二十三日から二十五日まで、琵琶湖グランドホテルで第十九回 UTA会が開催され、約七百五十名の方々が参加されました。

初日は久保幹事長の挨拶に続き、田池先生の「大まかなことを言いますので、あとは自学自習してください。学習という意味は、まずマネをする。自分がこうなりたいという先生とか目標のマネをする。学習の習とは鳥が羽ばたくように反復練習する。そうして初めて飛んでいけるわけです。これを学習と言います。学校の勉強も同じことなんです。自分の経験上では、学習をちゃんとやる人は、自分の希望の学校に進んでいきます。しかし、ほとんどの人は学

習をしていません。学習の真似事をしている人が多い。そして、希望だけは大きい。希望だけが大きくて刻々と時間が過ぎていき、その結果が出るということです。この勉強も同じことです。よろしいか。真似事をやってもダメなんです。それだけを最初にお願ひしておきます」という話があり、続いて勉強を始めて一年から五年までの人が前に出て、故郷のCDを持ってオリンピックテスト、そして、全員で愛の円盤を使ってオリンピックテストを行いました。また、二十年以上勉強している人で、前屈して床に手が着かない人が前に出て、愛の円盤を手を持ち、そして、田池留吉のほうに心に向けて床に手がつくようになるかの勉強がありました。前に出た人がみんな手が着くようになっていく様子を見て、会場から拍手が

沸き起こっていました。

その後、UTA会の登録番号の一位が一番の人が前に出て、田池先生が箸を手を持って、「これは何に見えますか、箸でも棒でもありませんよ、意識です」と前置きがあり、総崩壊の勉強が始まりました。それが終わると、今回初めてか二回目の人が前に出ての同じ体験があり、その人たちに一の位が二番の人が加わって総崩壊の勉強が続けられました。

一日目の最後は、一年目か二年目の人で水を使つてのリングテストを、続いて三年目か四年目の人でリングテストを行いました。

二日目は、午前中は瞑想・親睦の時間で各自がそれぞれの場所で過ごされました。

午後からは田池先生より、「皆さん

必ずやつて帰ってください。そして、それを続けるということが大事です。言われたことはやつてください。私はそんなに難しいことは言いませんので、必ずやつてください。

愛の円盤を使うときに、必ず田池留吉のほうに心を向けて使う。そして、コーヒーとか何かを載せる。しかし、皆さんは載せて変われという思いがあるんです。その思いを見てください。田池留吉に向けてやるんです。命令調はブラックです。自分がブラックだと、サタンだと言っているのと同じなんです」とのお話から始まり、昨日の続きで、一の位が五番の人が前に出て、田池留吉に心を向ける瞑想があり、瞑想が終わってから、その中から田池先生が指名してのチャネリングがありました。休憩のあと、一の位が六番の人が、

そして、七番の人が続きました。

それが終わって宇宙に向ける勉強が始まり、登録番号の一の位が八番の人、続いて九番の人が前に出て実践がありました。

二日目最後は、登録番号がまだ付いていない人が出て、田池留吉に心を向けて宇宙を思う瞑想を行いました。

三日目は、田池先生の話があり、故郷のCDを使つてリングテストや波動の勉強がありました。そして、前日と同じく一の位がゼロ番の人、続いて四番の人、そして、三番の人が出て瞑想を行いました。

三日間の締めくくりとして、塩川香世さんが前に出て、全員で宇宙に向ける瞑想を行い、三日間のセミナーが終了しました。

ホームページより

このコーナーは、田池先生のホームページに掲載されたメッセージです。

私の瞑想より 塩川香世

一 たただただありがたいと思いません。思いを馳せる、思いを向けることを知り、私は本当に幸せです。

肉はすべて整えられています。肉の環境はすべて整えられています。

ただただ思う、思いを向けていけることが本当に幸せです。

肉も幸せとはこのことでした。自分の中が本当の道を歩いていることを知って、だからこそ肉も幸せでした。

ああ、今世の肉を通してようやく

知り得たことが本当にありがたいです。

だから、瞑想をしても、ありがとうしか出てきません。私が私に伝えている思いは、ただただありがたいです。

ああ、肉を持ってきてよかったです。肉持たせていただいてありがとうございます。

二 アルバートの波動と触れたい。心の中をアルバートが呼んでいる。

アルバートを思う。アルバートに心を向ける。アルバートを呼ぶ。

ただただ嬉しい。アルバートの波動の中にあることを感じる。

ただただ嬉しいです。アルバートの波動を感じて、私の中は本当に嬉しいです。

アルバートを呼びたかった私に心向けます。

たぐさんの宇宙達を心に感じている。そのどれもがみんなアルバートを呼びたかった。アルバートを探し求めてきた、そんな私を感じます。

私は、この一つの肉体を持ち、アルバートの波動と出会わせていただきました。そして、アルバートを呼ぶ喜びを心にかけています。

そんな私はたぐさんの宇宙達に、アルバートに心に向けていきます。優しく、温もり、喜び。アルバートを探し求めてきた私達でした。

そんなメッセージを送り続けます。

私達の中に優しく、温もりがありました。お母さんの温もりです。

アルバートへ帰れる喜びは、私達

の心の中に取りました。アルバートを求めてきた。ただただ求めてきた。たくさんの、たくさんのエネルギーを心に秘めてきたけれど、そのすべてがアルバートを求めてきた。

アルバートを呼ぶ私の中に、そんな思いが伝わってきます。

アルバートへ心を向けること、喜びだと伝わってきます。

ただただアルバートを呼びたい。アルバートを呼んでいける喜びを、心に広げていきます。

田池留吉の肉を通してアルバートの波動を感じてきました。田池留吉の肉がアルバートの波動を伝えてくれました。ありがとうございます。ありがとうございます。

三 UTAの輪の核・愛に向けて

瞑想をしましょう。

瞑想ができるようになりましょう。

私はUTAの輪の核・愛に思いを向けて瞑想を続けています。

瞑想が変わってきました。

私達はこの肉ではありません。肉がなくても、温もりに心を向けられるか、温もりを思えるか、その一点です。

死んだら、肉体を無くしたら、何にも思えず、ただ固まっていくしかなければ、今の人生、失敗です。瞑想で心に響いてきます。

死んだあとの世界には何もありません。ただ自分の心があるだけです。

四 私は、アルバートとともに母なる宇宙へ帰る意識です。

今世の肉を通して、このことを本当に自分の心で感じ知り、確認して

きました。学んできました。今、この心を広げています。

私は、アルバートとともに母なる宇宙へ帰る意識です。

地獄の底を這いずり回りながら、それでも、真実の私を求めてきました。

私の中に、そのたくさんの私の思い、私の声を届けてくれます。

この肉を介して、その思いを感じます。

私は、瞑想をして、その自分の思いを心にしつかりと感じ、ともに、ともに帰ろうと自分に呼びかけています。

私の中のたくさんの宇宙達。ともに、ともに、帰れる喜びを、ただただその喜びを共有したいです。

私は母なる宇宙へ帰る意識です。私のふるさと、母なる宇宙へ帰る意

識です。

自分を捨て去り、自分を忘れ去り、しかし、私の心の中に、優しさと温もり、喜び、広がる心が蘇ってきた今世でした。

今世の肉を通して、田池留吉の学びに集い、そして、田池留吉の肉を通してアルバートの波動を感じた私は、自分の中の本当の私に巡り会いました。

これこそ、私が探し求めてきた真実の世界でした。

そのことを、私は心に感じ広げています。ともに、ともに帰ります。

三次元にある私の意識の世界。しかし、今、私はこの次元を超えて、ともに、ともに帰れる喜び、さらなる私の歩みを、私の中の本当の私が待ち望んでいることを感じます。

五 UTAの輪の核・愛に思いを向けました。

私達は愛の意識。愛のエネルギー。UTAの輪は、さらに、さらに発信してまいります。愛へ帰る私達の思いはさらに、さらに、宇宙へ愛を発信していくでしょう。

心の中に、田池留吉、アルバート、母なる宇宙を呼び起こしましょう。

愛は私達でした。私達は愛でした。愛のエネルギーが、すべてを変えてまいります。

この地球上、そして全宇宙に、私達は愛のエネルギーを発信してまいります。心の中に私達はありました。心の中になりました。私達は心の中になりました。この心の中に愛、愛溢れる私達がありました。私達は喜びです。喜びです。ありがとうございます

います。

六 思ってください。思いを向けてください。

自分の中の優しさと温もり、そして喜びを信じて思いを向けてください。

どんどん自分の中の優しさと温もり、喜びを感じてください。

湧いて出てきます。突き上がってきます。

だから、自分に思いを向けていくことが、たまたまなく嬉しいんです。

ただただ、ただただ幸せだと思います。

お母さん、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。溢れ出てきます。

どうぞ、瞑想の喜びを心に広げていきましよう。

瞑想は喜びです。目を閉じて思い

を向けていけることを、心から、心から喜んでいきましょう。

七 私は、愛の水素水を飲用し、早寝早起きの規則正しい一定のリズムの中で、日常を送っています。生活のリズムをできるだけ崩さないように心掛けています。適当に身体と頭を動かしています。もちろん心は動きます。動く心があるからいいんです。そして、何よりも、瞑想をする時間の確保は絶対です。

心を向ける、心の針を合わせる、その重大さ、その喜びを、私は、正しい瞑想を重ねながら、自分の中で確認する日々です。もちろん、愛のエネルギーの注入された道具を活用しています。

しかし、私の中では、水素水を飲むときや、たとえば入浴するとき、

ふつと愛を思いながら飲んだり、お湯に浸かったりと、自然とそのようになっっています。私はそれが何よりも大切なことだと思っています。

そして、それは、やはり、正しい瞑想を中心に据えた生活習慣の賜物だと理解しています。

瞑想をして心に響いてくる波動の世界は、私の中でいつも変わらずに、温もりと優しさ、喜びを伝えてくれます。

ただただこの波動の世界と出会いたかった。そしてそれが、今、現実のものとなっっている。こんな幸せなことはありません。

だから瞑想は喜びです。瞑想をして、自分の中の温もり、優しさ、広がり、そういう波動の世界を感じられることが幸せなことではないでしょうか。

八 瞑想をして、絶えず感じることは、私は私の道をまっしぐらに進んでいく喜びです。私の呼び掛けに、私の中が反応してきます。

自分に、自分の本当の喜びとか温もりとかそういうものを伝えていく喜びが、肉に伝わってきます。肉に響いてきます。

目を閉じて思いを向ける、心の針を向け合わせていく、肉のできることはただそれだけです。

あとは、自分の中の愛が仕事をしてくれんです。私は、瞑想を重ねて、そのように感じています。

愛のエネルギーの中にあつた私達でした。愛のエネルギーしかなかったんです。その愛のエネルギー、つまりは本当の自分をどんどん心に感じられる、心に響いてくる、こんな

時間と空間を自分に用意していることと自体、愛以外にはありません。

愛があるからこそ、自分達が愛だったからこそ、自分の間違いに気付いていけるし、自分を促していけるし、すべては愛の中へ、すべては本当の自分へ帰っていきけるんです。

私は、日々の瞑想の中で、こんなことを感じながら、ただただありがたいという時間を持たせていただいています。

九 田池留吉に素直に心を向けながら、自分の中の愛を呼んでいきましよう。愛に思いを向けていきましよう。

必然的に、そこにはUTAの輪の存在があります。

ともに、ともに帰ろうと呼び掛けました。

どうぞ、この呼び掛けを素直に受けてください。

私達は、愛の中へ、私達のふるさと母なる宇宙へ、ともに、ともに帰る意識です。

今、肉を持ちながら、どうぞ、このメッセージが心の奥底から響いてくるあなたと出会ってください。

私達はみんな間違っただけで存在してききました。自分の本当の姿を見失って、彷徨い続けてきました。

それは、瞑想をして、自分と対話していけば、心に響いてくるでしょう。しかし、それと同時に、だからこそ、自分は帰るんだ、帰れるんだと、心の奥底から、そんな声が、思いがひしめき合っているのも感じるでしょう。嬉しいではないですか。どうぞ、自分の声、思いにしっかりと応えていきましよう。

瞑想を継続して、一步自分の歩みを前へ進めていきましよう。

愛に帰る道をただひたすら真っ直ぐに見つめていきましよう。

一〇 二カ月ほど前に意識を向けさせていただいた人の訃報に接し、自分の今ある時間を大切に、そして真摯に自分と向き合っていこうという思いを確認しました。

「人間って儂いなあ。今は充電時間と考えているけれど、どうやらそうではないのか」、そんなことをポツリと語りながら、その人もまた自分の意識の世界に思いをほんの少し向ける機会がありました。

何も知らずに、こういうことをするのが人生だと、人はみんな自分の価値基準、人生哲学で生きていこうとします。

人はみんなどうして母の温もりを忘れ去ってしまったのか、つくづく、しみじみ、今思っています。

だからこそ、なおさら、学びに集い、母の反省、ゼロ歳の瞑想、母の温もり、愛、そういう方向に、心を向けてみてください、とわざわざ言われていることが、どんなに幸せであるのか感じます。

肉を持つ時間は限られています。しかし、その限られた時間から、無限の自分を思えるような今であることを、本当に心から喜びながら、今を大切にしていきましょう。そして今という一点がすべてであるということ、これを心で知ってください。

一一 中心に近づいていこうか、離れていこうかというところで彷徨っている状態。

誠に申し訳ありませんが、今、そ

ういう状態では、とても、とても、という感じですか。

私からすれば、そういう方が多いということが、本当に不思議な話です。

なぜなんですか。彷徨いながらセミナーに参加しているということでしょうか。私にはとても信じられないことです。

セミナー会場は、自宅学習の確認の場です。セミナーに参加するということはそういうことです。

瞑想をされているのでしょうか。本当に瞑想をされているのでしょうか。目を閉じて、自分に思いを向けていけば、自分の中の優しさ、温もり、喜びが伝わってきませんか。響いてきませんか。

何としてでも、今世、自分を次の転生に繋いでいく足掛かりをつけた

い、つけよう、そんな思いが湧き起こってきませんか。

「お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう。」

瞑想をすれば、もう今の時期、あなたもこの思いが、はつきりと心に響いてくるのが普通です。何も特別なことではありません。

「お母さん、ありがとう」の思いに行き当たらなければ、自分に何も伝えることはできません。自分に何も伝えることができないということはどういうことなのでしょうか。

自分の存在理由が分からない、これほど哀しいことはないのではないのでしょうか。

一二 「私は愛だから、今のこの肉を持つているし、今のこの環境設定の中で、真実の波動を感じていける

ようになっていゝし、そう、すべてが愛だから、そういう意識の流れの中にある自分であることを感じられる。」

あなたはどのように思いませんか。

きつと瞑想をして、同じことを感じておられると思います。

そうですね。私達は愛だから、愛しかないのだから、こうして、真実の世界にいざなわれているんです。本当にごくごく自然のことでした。

その自然のことに逆行していけば、幸せになんかなりつこないし、いつまでも、どこまでも闇黒の中に沈むしかないでしょう。

瞑想を継続です。正しい瞑想を積み重ね、本当の喜び、本当の幸せ、本当の温もりで自分を包んで、包んでいきましよう。

それができる私達なんです。いい

え、そうしていくことが自然なんです。

一三 正しい瞑想、正しい瞑想と

言うけれど、正しい瞑想とは、田池留吉と素直に呼べるか、田池留吉に素直に思いを向けられるかということです。

そうでないならば、正しい瞑想はできません。

そもそも、素直に呼べない、素直に心に向けられないのは、他力のエネルギーを心にずつしりと、ぎつしりと詰め込んできたからでした。

従って、その確認のために、昔の闇出し現象、今で言うならば大噴出のお勉強を重ねてきたわけです。

そして、今は反転、反転と、少しでも正しい瞑想ができるように、自分の中をマイナスからプラスへ転換

していくことが主となっています。

いわゆる自己供養をするために産まれてきたのだという学びの基本に何ら変わりはありません。

自己供養、すなわち自分の中の反転力を高めていけば、それは自ずと正しい瞑想に繋がっていきます。そして、田池留吉と素直に呼び、田池留吉に素直に心に向ければ、アルバートを心から呼んでいる自分の中のたくさんの自分に出会えます。

そうなってくると、二五〇年、三〇〇年に至る次元移行という意識の流れは、自分の中にしつかりと響いてくるし、響いてくればくるほどに、瞑想が大切で、瞑想が喜びで、正しい瞑想しかないということもしつかりと分かってきます。

そして、これらの一連の作業は、みんな愛の中で響き合っていること

も感じられます。全部繋がっていることが感じられるんです。何と繋がっているのでしょうか。それは母の温もりです。根源的な温もりです。本当の自分です。

一四 死んでも消えないものを知っていくこと、知っていくけるように肉を持つ時間を過ごしていくことが、自分に取って何よりの優しさです。

それは、本当の自分の温もりだから優しさを知り感じているからこそ、そう言い切れるのだと思います。

日々、瞑想を積み重ねていくのは、継続して、淡々と、真摯に自分と向き合い、自分と対話し、自分を感じていけるのは、自分の中に、本当の温もりと安らぎを感じているからではないでしょうか。その自分と触れ

ていたい、その自分を感じていたい、それが瞑想の喜び、瞑想の醍醐味です。

心の針を自分の中に向けての大切さ、尊さ、喜び、優しさ等々、今の肉を通して感じて、感じていきましょう。そして、自分の用意してきた肉の間を過ごしていきましょう。終わっていきましよう。

その過程で、これまでは真っ黒なエネルギーだけを垂れ流してきた自分が、ようやく愛の本来の自分を流していけるなんて、こんな幸せなことはありません。

私には、悩みや心配事が何もないので、一日、一日を自分のペースで生活して、あとは、瞑想、瞑想の自分の時間を大切にしています。

思えば幸せです。何の過不足もなく、本当にうまく回っていると感じ

ています。

一五 指針通りに学んでいけば、本当に幸せな自分と出会えます。いい、初めから幸せだったことが、手に取るように分かります。本当にそうなんです。

私達は、初めから幸せでした。すべてを整えています。自分の中の本当の自分、愛を蘇らせるために、すべてを整えていたんです。

それが私には分かったんです。だから、私は、自分の感じた世界に何の揺らぎもありません。自分のこれからの何の揺らぎもありません。

二十年余り学ばせていただいた結果を受けて、私は、自分の道をしっかりと歩いていきます。

瞑想をすればするほどに、自分が今世産まれてきた決意の強さも感じ

るし、これからの自分も感じるし、私にとって、本当に最高の時間を過ごしています。

瞑想は喜びです。瞑想だけが真実を伝えてくれます。何も要らない。ただ、感じる心があるからそれでいい。私はそのように思っています。

一六 心が穏やかで、ふっと思えば嬉しくて、優しい自分を感じているならば、幸せでしょう。取り立てて何もないけれど、ふっと思えることが幸せ。

こんな日常の中で、しっかりと本来の自分の歩みを確認しながら、自分の中で対話を進めながら、という時間はとてもいいものです。

昼間は、随所で自分のエネルギーを感じながら生活をして、そして夜、朝、静かでゆったりとした時間の中

で自分を感じていく生活、いいですね。一日、一日、自分に用意した時間が過ぎ去っていきます。一日、一日、自分の中の温もりと喜び、幸せを確認しながら、自分の中のエネルギーを確認しながら、そうできることが幸せの中にある証明です。

本当の自分を心から知っていく、心から感じていく、いいえ、その前に本当の自分の存在を信じるのが肝要です。本当の自分、すなわち真実は自分の中にあった、そこへ辿り着くことが肝要です。

一七 来る日も、来る日も瞑想です。正しい瞑想ができるように、最大限、可能な限り努めてください。努めていくことが自分に対する誠意です。自分に対する優しさです。自分を救う優しさに、自分に本当のこ

とが伝えられる喜びに、一日も早く出会っていきましょう。

瞑想をしていない人、継続的に瞑想をしていない人、瞑想が日常化していない人は、学んでいるとは言えません。

なぜ瞑想をしようとしなかったのか、なぜ瞑想が継続的、日常化にならないのか、そのところ、しっかりと自分に問い質^たしてみてください。

また、瞑想ができない人もいます。瞑想をすれば苦しくなるとか、不安になるとか、恐怖であるとか、心がざわついてくるとか、そういう状態の人は、本当に真剣に心の針を向けて合わせていけるように、本当に必死でしていかねければならないでしょう。

瞑想は喜びです。喜びの自分、温もりの自分と出会える時間と空間で

す。

ブラックのエネルギー、喜びです。大変、大変ありがたいです。そのブラックのエネルギーこそが、愛に帰る喜びとパワー、温もり、優しき、限らない広がりを与えてくれるんです。

私達は愛だからです。愛しか存在しないから、愛のエネルギーに蘇っていく喜び、喜びをどんどん心に溢れ出していける喜び。そんな喜びとともに存在してまいります。

一八 本当の自分の存在を知らずに、本当の自分の存在が信じられずに、そういう状態で、幸せも喜びも分かるはずはない。こんな簡単なことが分からなくなってしまう私達でした。

瞑想を重ねて、重ねて、ただただ

瞑想の喜びを味わってあげればいくほかに、本当にそうだったと実感です。

だから、本当の自分の人生を生きてきた人なんて、これまで全く皆無だったんです。

自分のするべきことをしないで、できないで、人生を終えていったことに對して、本当に自分に懺悔しかないでしょう。

それでも、私達は、自分に生かされてきました。こうして、自分に肉を持たせているからです。

自分を裏切らずに存在していける喜びを、瞑想の中で感じて、感じていける、そんな瞑想の時間を、可能な限り、たくさん、たくさん持っていきましょう。私は、自分の時間を自分に捧げていく、そんな思いで自分とともに歩みを進めています。

一九 私は、今のこの肉を通して、真実の波動、エネルギーを心に感じられることがただただ、ただただありがたいです。

田池留吉の波動、愛、そのエネルギーに心を向けていける喜びだけが広がっていきます。

思える喜び、心に向けられる喜びです。

私はそんな喜びを、今、どんどん心に感じていきます。だから、私は、自分のペースでどんどん瞑想を継続、重ねていきます。義務とか欲とかそういうものではなくて、ただ瞑想をすることが喜びなんです。

愛に向かってどんどん瞑想を続けます。そして、自分の心に響き感じた喜びのエネルギーをどんどん発信していきます。

この中心へ向かう動き、中心から

発信する動き、これらの動きの中に存在している喜びを瞑想の中で味わっています。

どうぞ、心に向けていきましょう。自分の心の針を合わせていきましょう。素直にただひたすらに、喜び、喜びで心に向け合わせていく喜びを感じて、感じて、感じていくだけです。

二〇 田池留吉の肉にとらわれたら、自分の心を落としていきます。

田池留吉の言葉をつかんでもまた同様です。肉とはそういうものです。

つかむ心、握る心、担保してほしい心、その他諸々、田池留吉の肉と日常的に接する人達は、よほど自分の心の管理をしなければということでしょう。

真実の世界を学ぶことについて、ある意味厳しい、難しいという面も

あるように私には思えます。

まあ、どの道、それぞれ自分の心の中の出来事ですから、自分の心の管理は自分でしなければならぬことです。幸せにいきなっていくのも自分だし、苦しみに沈み続けていくのも自分。そういうことをきちっとわきまえて、喜んで、喜んで存在していけばいいだけのことです。

そこで、やはり、自分の中の田池留吉と対話する、つまり、自分の中の本当の自分と対話する、対話できる、そういう確信が自分の中にあること、すなわち、中心棒の確立が、何としても必要になってくるのではないのでしょうか。

二一 私の瞑想は、愛を思う瞑想が主流となっているような感じがします。

もちろん、お母さん、田池留吉と心に思い、心に呼んでいくところから始まって、あとは愛が出てきます。

「私は愛です」というメッセージが心に広がっていきます。

そうすると、「あなたは愛です」と私の中から思いが流れ出してくるのを感じます。

自然に宇宙を呼んでいます。宇宙と思ひ、私は愛を思つて瞑想をしています。自分の中に優しさ、温もりの何とも言えない思いが感じられる。こんな瞑想の時間が毎日持てることが幸せです。

私は本当にそのように実感していません。形のない私自身を感じていくことが、本当の喜び、本当の温もり、本当の幸せを知っていくことだったんだ、改めて瞑想の喜びを味わっている日々です。

二二 きちんとした一定のリズムの生活があるから、正しい瞑想がで

き、心の針を正しい一定の方向に向けて合わせていけるのか、正しい瞑想を遂行しているから、日常生活もまた一定のリズムで流れていくのか、はたまた両者が同時進行なのか、どれがどうとは言えませんが、とにかく、瞑想をすることは何よりも肝心なことだし、瞑想が進んでいけば、自然に生活も本当にシンプルに、そしてしつかりとしたものになってきます。

肉の心も身体もしつかりとして、だからこそ、瞑想、正しい瞑想を継続そして日常化して、さらに意識の世界、波動の世界の素晴らしさを心に感じていけるのではないのでしょうか。

肉を持っていて喜び、肉を持っている素晴らしさ、肉を持っている幸

せ、そういうものを、瞑想を通して心から感じられるということでしょう。

快適な生活、人との繋がり、物質的豊かさ、そういったいわゆる肉の喜び、肉の幸せは、瞑想の素晴らしさを心に感じ知ってこそ、本当の喜び、本当の幸せに繋がっていくのではないのでしょうか。肝心を抜いてしまえば、それらは空虚なものにかなり得ません。

二三 そうです。自分の中の愛に触れ、自分の中の愛を感じ始めていけば、自ずと田池留吉と呼びたくなるんです。田池留吉と呼ぶ、お母さんと呼ぶ、思うことが喜びとなくなってきます。

呼んで、思っ喜びとなくなれば、さらに愛の自分の中が反応しま

す。

優しさ、温もり、安らぎ、色々と言葉はありますが、ただただ思えることが喜び、幸せの状態になります。

瞑想とは、目を閉じて思うこと。こんな簡単な作業で、響いてくる世界がありました。波動、エネルギーの世界です。

言うまでもなく、私の思いは、自分の中の宇宙に向けられていきます。思わずアルバートと、私の中が叫ぶんです。宇宙とともにアルバートを呼ぶ私の中には、ただただ喜びが込み上げてきます。心の底から求めてきた思いがどんどん、どんどん心に響いてきます。

私には、それがただ嬉しくて、嬉しくて、たくさんの宇宙、たくさんの自分を感じられることがただ

だ嬉しいんです。

だから、私は、瞑想は喜びだと言っています。瞑想は喜びなんです。瞑想して、どんどん自分の中の優しさ、温もり、喜びと出会っていきましよう。

ああ、瞑想しかない。確かに広がっていく世界、波動、響いてきます。

二四 連日、瞑想、瞑想、正しい瞑想をとホームページに載っているのだから、学んでいこうとしている方達は、全員瞑想を毎日されていることでしょう。それでも、瞑想を疎かにする人はいったいどういうつもりなのでしょうか。

瞑想は毎日です。瞑想は毎日、毎日するものです。毎日、毎日、自分なりにして、だからこそ、瞑想について色々なことが分かってくるの

です。

そして、自分の心で感じたこと、体験したことを参考にして、また自分の中でどんどん心を向ける作業を進めていけばいいのではないでしょうか。

瞑想といってもみんながみんな同じではありません。しかし、だからといって、人と比べてどうということとは無駄なことであり、禁物です。案外、そういう話をしているうちに、どこかともない方向に行ってしまうかもしれません。

意識の世界のことについて、いわゆる目に見えない心でしか分からない世界のことについて、情報交換して、話し合つてというわけにはいかないではないですか。

それよりも自分の中の中心棒の確立を目指し、愛の自分を目覚めさせ

ていく方向に、自分のエネルギーを注いでいく、つまりは心の中へ、中へ、愛へ、愛へ向けていこうとする、そういうことにエネルギーを、そして時間を費やしていくことがベストではないでしょうか。

二五 瞑想をして、自分の存在理由が分かればいいではないですか。

瞑想をして、自分がなぜ産まれてきたのか、産んでいただいたのか、心に響いてくれば、こんな幸せな喜ばしいことはないでしょう。

肉、肉で形の世界を本物として活動している人達は、みんな彷徨っています。彷徨いながら、苦しみ続けながら、自分が彷徨っていることも、苦しみ続けていることも分かりません。知りません。

天国、地獄があると聞いているか

ら、死ねば天国に行くのか、地獄へ行くのかと、その程度で、本当に死んだ先は霽もやがかかっている状態です。だから、今を利那的に生きているという人が殆どではないでしょうか。

また、苦しくて、辛くて、悲しくて、やるせないことが人生の時間の中には、往々にしてあるんだ。だからこそ、そういうことが自分の周りに起こらないように祈るし、願う。幸せになりたいんだ。人と人の絆を大切にしたい、今ある命を大切にしなければならぬ。小さく、小さく生きていく人が殆どではないでしょうか。

その濁流の中に今いることをしっかりと確認しながら、愛を思う瞑想、私は愛ですと中から響いてくる時間と空間をしっかりと持っていきましよう。

すべては愛。愛しか存在しないと

響き伝わってくる波動を、心で感じられるようになっていきましよう。

二六 今という時がどんなにありがたいかは、皆さん、それぞれに心に感じておられる今だと思います。

長い、長い転生を経て、ようやく今、愛の中にあつた私達だったことを自分の心で学ぶ絶好のチャンスに巡り合っています。

瞑想をすると、このことがはつきりと感じられます。

どんなに待ち望んできたことか、どんなにしても分からなかったことが、今、自分の目の前に広がっていて、思えば通じる体験が、何度も、何度も、繰り返し、繰り返しできることが、本当に夢みたいです。

しかし、夢ではなかった。現実でした。現実には響いてくる世界、波動

エネルギーの存在を確認しながら、こうして存在できる幸せをかみしめています。

だから、お母さんと思うとありがとうしか出てこないのではないのでしょうか。全く特別なことではなかった。それが自然なことでした。それを全部忘れ去り、捨て去った愚かな自分だったことを、本当に心から出会って、私は、今、幸せ、ありがとうございますをかみしめています。

二七 自分を幸せに、喜びにいなっていくのに、何も要らなかった。全部自分の中になりました。私自身が幸せ、喜びの存在でした。その私自身を感じて、私自身を信じて、そして、私に戻っていけばそれでよかったです。

こんな簡単なことが、何億年もの

長い、長い間、気付けなかつたなんて、これまた信じられない話でした。

そして、これからもずっと、自分の喜びの時間は永遠に続いていくことを、心に感じ、その自分というものの存在、愛を、次元を超えて知っていけることが壮大な意識の流れなんだと、瞑想をして感じます。

たくさんさんの転生、たくさんさんの過ち、どれもこれもみんな宇宙に垂れ流してきた膨大な闇のエネルギーですが、愛のエネルギーだった自分に目覚めていけばいくほどに、そんな膨大なエネルギーもまたすべては愛に帰るエネルギーだったんです。

宇宙を汚しまくってきた自分の中に、ただただ愛に目覚めてくださいと本当の自分が息づいていた現実、事実に出会って、私は、今、さらに瞑想を重ねていこうと感じています。

二八 田池留吉を思う、アルバー

トを思う、次元移行を思う、愛の中にあつた自分を思う、それらが日常化していけば、ふっと思うだけで、自分の中に帰れる喜びと安心があります。そうしながら、日々の生活を続けていく、そんな一日、一日が過ぎ去っていきます。

思うことを知りました。思える喜びを知りました。あとは、どんどん自分の中で、思える喜びを広げていくだけです。思える喜びは、本当に今世の肉を通して、私の全宇宙に伝わっていきます。

瞑想をすることを伝えていただいてありがとうございます。

瞑想ができる自分であることに感謝します

自分の中の本来のパワー、愛に目

覚めていけばいくほどに、自分という存在そのものにありがとうございます。ともに歩める幸せを感じます。

二九 死後直後の私を見てくださいと、田池留吉は言いました。それが田池留吉にとって、ワクワクするような証になるように、私にもまた、ワクワクするようなお勉強をさせていただけのを感じます。

今からワクワクします。

肉ある田池留吉とともに学ぶことは、ある意味容易いことで、それなりの効果も上がりますが、その一方で、現実、今、肉を持っているんだから、完璧に学ぶということは難しいです。

それが、肉がないという現実の中で、自分の心に響き伝わってくる存在感をしっかりと確認できれば、こ

れは私にとって、大きな弾みとなります。確認する瞑想。

私はそれを大いに期待して、心待ちして、日々、瞑想を重ねていきます。

より純粋に、高度に意識の世界波動の世界を学びたい。学んでいけるように、自分の中を整え、永遠に存在することに思いを馳せていきます。

三〇 もちろん、肉ある田池留吉とともに学びを進めていけることは喜びです。しかし、私は、肉なき田池留吉とともに学びを進めていく喜びも確信しています。

それは瞑想です。目を閉じて心を向ける、合わせる。その喜びと温もり、愛のエネルギーの中に一つという意識の世界の中で、ともに存在している感覚を、今、こうして自分の中で

確認する瞑想。

この瞑想の積み重ね、瞑想の継続、瞑想の日常化、これから一年、二年、三年……と、UTAの輪の中で、私は確実に宇宙へ向けて、次元移行へ向けて、ともに、ともに進んでいく喜びを味わっていくでしょう。

肉なき田池留吉と、UTAの輪の中で、ともに愛のエネルギーを発信していく喜びが、私の心の中に響いてきます。

ああ、私は幸せです。宇宙を呼べる私は幸せです。宇宙とともに存在していけることが幸せです。

思う喜び、思える喜び、自分の中でしっかりと、しっかりと育んでいきます。何度も、何度も体験できることを確認しながら。

三一 UTAの輪の中で、さらに、

自分の意識の世界が大きくなっていくように思えます。さらに広がり、

愛のエネルギーを、さらにしっかりと発信していけるような、そんな楽しみ、嬉しさを感じます。

もちろん、UTAの輪から離れていく人達も出てきます。

しかし、私は、心に感じる波動エネルギーをそのまま、そのまま流していただくだけです。田池留吉、アルバートの波動、愛のエネルギーを、自分の肉を通して、その質を変えずに、そのまま、そのまま発信していきます。

それが私の喜びだから。それは、私の来世に繋げていくためには欠かせないものだから。それが意識の流れの中の計画だから。

私は、意識の流れに忠実に存在していきます。そういうことを感じた

今日の瞑想でした。

三二 学びは実に簡単です。

今、苦しいならば間違って存在しているんです。何が、どういうことが苦しいのか、どういうことで悩んでいるのか、それは人それぞれでしょう。そんなことで苦しいと感じるのか、悩みだと思うのか、心が落ち込んでいくのかと言ってみても、現実はその人の心が、今の自分の状況、環境、状態、学びの進捗度も含めて、それらをマイナスと感じて、否定的に、小さく受け取っていくならば、それらはみんな自分の力量不足です。自分というものを小さくとらえている、自分をないがしろにして、己の肉だけをそびえ立たせているということになりはしないでしょうか。私はそう思います。

プラス、つまり優しき、温もり、喜び、愛として受け取れない、心の中に埋もれてしまっている状態です。しかも、それらの心の世界は、全部自分が作ってきたものだとは、なかなか、なかなか思えないし、思えないから、そこから自分を解き放つことが容易ではありません。

自分を幸せに、喜びに導いてくれる、自分にパワーを授けてくれる他力の道を歩んでいったほうが楽なんです。

そういう意味で、学びは難しいと言えど、私には、やはり学びは簡単だと言えます。

学びは実に簡単です。そして、私達の、本当の私達の意識の世界は、とてもシンプルだと言えます。

三三 まず、今、肉を持っている

あなたが、自分の中の愛のエネルギーの存在を確信する方向に自分を進めていかなければ、自分から愛が流れることはないし、愛を堰き止めていては、なぜ自分が今の肉を持っているか分からないという学びに触れない人達と、何ら変わりはありません。

しかし、あなたは決して特別な存在ではありません。今世、学びに触れたからどうということはありません。

ただ愛に目覚める、本当の自分に目覚めるために存在してきたこと、これからも存在していくことを、本当に自分の心で知っていくチャンスが目の前にやってきただけのことです。

それを活かすかそうでないか、あるいは十分に活かすかそうでないか、

それはひとえに自分にかかっています。

みんなすべての意識は、大いなる存在です。なぜならば愛の中に一つだからです。自分を肉、形としてしか見れないから、他力に走ってしまっただけです。他力に自分を売ってしまったんです。

その愚かさに、心から気付くことから始めなければなりません。

それにはこれからの転生という時間もありますし、そこには、必ず天変地異という現象が待っています。

他力のエネルギーから、自分を解き放つことは一朝一夕にはできませんが、焦らず、弛まず、真摯に、自分と向き合う素直さが何よりも必要とされます。

それをしっかりと知って、愛を思い、宇宙を思う。この瞑想の素晴ら

しさを、やはり、自分の心で堪能できるというのが、今世、学びに触れた大きな成果なのではないでしょうかというのが私の今です。

心ひとつあればいい。思える心、この私自身がここに存在していればそれでいい。そんな感じで瞑想を重ねています。

三四 瞑想をして、いつも感じる

ことは、肉を持たせた自分の思いに誠実でありたいということです。

心の底から突き上がってくる、待っていたという思い。私はこの自分の思いに、何としても応えていこうとしてきましたし、これからもその自分の思いに忠実に存在していきます。

肉を持って、自分にありがとうが言えるなんて、私は本当に嬉しいです。本当にそのことが喜びだと思っ

ています。

自分にありがとう、自分を愛しく思う、そんな歩みを一步、一步、しかし、着実に継続していくこと、それが私にとって幸せなことなんです。

「私は愛である。存在は永遠なり。」

常に、私は、そうして瞑想を継続しています。心の中から湧き起こり、突き上がってくるエネルギーは、すべてが愛に帰る喜びだと、温もりだと伝えてくる私です。

ブラックなど存在しない。マイナスなど存在しない。ブラックをブラックだと放置し、あるいは遮断し、そして隠蔽しようとするから、ブラックはさらに大きく成長していくのでしよう。

「私達は愛でした。温もりでした。喜びでした。ともに帰ろう。」

しっかりと真っ直ぐに伝えていけ

る喜びを、瞑想の中でどんどん味わっていきましょう。瞑想が楽しくなります。瞑想が喜びとなります。思いを馳せる、思いを向ける、何よりも、何よりも大切なことだと分かっています。

三五 肉体をいただいた喜びもさることながら、自分に肉体を持たせた思い、自分に肉体をくださいと懇願した思い、私は、そのほうに、自分の心に向けることが多いです。絶対に、何としてでも、今世肉体をくださいと言ってきた自分の思いを思つて瞑想をするんです。

そうすると、必ず自分との固い誓いが思い起こされます。

全部、自分が設定してきたことに対して、どんなにこの時を待ち望んできたか、私は私の思いに驚き、し

かし、それがただただ嬉しくて、ああ、私は、この自分の思いとともに存在している、いきたい、そんな思いがどんどん、どんどん突き上がってきます。

昔、昔、瞑想などしても、何にも響いてこなかった私にとって、今の私の状態は、本当に奇跡としか思えないほどのものです。

こんな意識の世界にあった自分、いいえ、これが私だったんだ、今、肉を持ちながら、ある意味、本当に不思議で、不思議でたまらないというのも、私の偽らざる思いです。

三六 意識の世界は、一瞬思えば通じる世界です。一瞬にしてエネルギーが働く、そういうことを水道の蛇口、冷蔵庫等々を使って実験、体験してみませんかと提案していただきまし

た。

楽しみながら、意識の世界、波動、エネルギーの存在を自分でそれなりに体験されればと思います。要は、そこから何を学んでいくか、その体験等々を自分のこれからどのように活かしていくかということですが、ただ変わった、びっくりしただけでは何とも物足りないです。

思うことはとても大切なことです。言い換えれば、自分の心の針がいつもどういう方向を指しているか、針の向け先の確認、チェックを心掛ける、そういうことが習慣化しているか、ということ、いつも学びを思い、学びの中に自分の生活があることを実感している状態なのか、どうなのかということになってきます。

道具を使つての実験、意識を受ける作業等々、あんなこともこんなこ

ともみんな、自分を本来の自分のルート、意識の流れに乗せていくための一環です。

意識の流れの中にある自分だとすっかりと心で確認して、その意識の流れの中にある自分を、いつもいつも思い、その思いに沿って存在していく喜びであるとか幸せを、心から感じられるようになっていきましよう。

三七 意識の世界は何もない世界。何もないけれどそこに確かにある。何があるか。それは自分の心で感じていくしかありません。

形を伴う様々な実験とか試みを経る一方、波動、エネルギーしか存在しないことを、どんどん自分の心で感じていくしかありません。

その手段は瞑想。正しい瞑想です。

一枚のティッシュ、一枚の万札、形の世界で使用すれば、その価値は全く違うが、それらに愛のエネルギーを注入した効果は全く同じ。ティッシュより万札のほうが、愛のエネルギーが大きく働くということは全くなし。この切り換え。やはり最後に大きく浮かび上がってくるのは、意識の転回です。基盤の切り換えです。

ここをクリアしない限り、形を伴う様々な実験も試みも、肉の段階でストップしてしまいます。ということは学びもそれなりの段階で留まってしまう。だから、瞑想、正しい瞑想は絶対条件。正しい瞑想ができるようであればならないということになります。

三八 愛、その波動、エネルギーの強さ、パワーのすごさ、まさに熱

風と表現しても言い過ぎでないほどの熱さ、それらを体感できる喜びを通して、やはり意識の世界はすごい、波動の世界はすごい、愛のエネルギーはすごい、そういう単純な表現しかできないことが、何とも歯がゆい感じですが、それしか言いようがありません。

田池留吉に針を合わせていけばいくほどに、途轍とてつもない、底なしのエネルギーを感じる。そして、それがただただ喜び。

過去、どんなに間違い続け狂い続けてきた凄まじいエネルギーであっても、それらは、もはや苦しみの奥底のうめき、叫びではなく、愛に帰る喜びのエネルギー、喜びの雄たけびだと、そういつたエネルギーの質の変換が、私の心にはつきりと響いてきます。

愛の中に一つだという心の体験を重ね重ねて、愛はパワーだという点について、もう一段アップできるよう学びます。

三九 田池留吉に心の針を向けて合わせるという表現は、瞑想をしやすいうようにしているのか、反対に難しくしているのか、微妙です。

しやすいというのは、田池留吉の肉、田池先生を思い浮かべて、そこから瞑想に入りやすいからということかもしれません。

それは、本来の瞑想では全くありませんが、最初の最初は仕方ありません。心の針を向ける、合わせると聞いても、その向け先が具体的に分からないから、道しるべである田池留吉の肉を思い浮かべながら瞑想をしていく、初期の初期はそうかもしれ

れません。

そして、どんどん自分の中に心の針を向けて合わせていくことを学習していけば、やがて、自分の中の田池留吉、本当の自分という存在を、どなたも確認できます。

針を向ける、合わせる、瞬間的に。その訓練、実習を日々の生活の中で、もちろん、瞑想の中で、積んでいく、そういう段階に学びはきています。ともに学んでいきましょう。

四〇 形ある中で、自分もまた肉という形を持つて、波動、エネルギーの世界しかないことを実感し、確信を深めていくことは、簡単なようで難しく、難しいようであると言えます。

ただ、ここを突破しない限り……、ということだけは確かです。

心に感じ、心に響くといっても、基盤が違えば云々という結論になってしまいます。

形ある中で、自分もまた肉という形を持つて、基盤を変える。やはり至難の技だと言えるでしょう。

一方、学び、意識の流れは順調に、しかし飛躍的に進んでいます。

焦らず、弛まず、真摯な思いで学んでいきましょう。正しい瞑想を日常的に継続的に。肉でできることはそれだけです。素直になっていきましょう。

四一 日々、淡々と心を見る。そして喜び、喜びで生活をして、素直に真剣に瞑想の時間を持ち、自分の死後を感じていく。

このようにして、自然災害を含む天変地異の転機を自分に活かす準備

を着々と整えていきましよう。

天変地異は必然的に起こり、そして、それが最大のチャンスです。

瞬間的に心の針を合わず訓練。楽しみながら、しかし、真剣に習慣化してください。

正しい方向に心に向けていけばいくほどに、エネルギーのすごさ、大きさ、強さ、温かさ、厚みが増し、どこまでも広がっていく世界にある自分だったと感じていきます。そして、それはただただ喜び、喜びです。

いつも、自分の中に戻り、自分の中の喜び、温もり、優しさと対話し、そこから自分の歩みを、絶えず進めていきましよう。

その術を学ぶために、今の肉体があり、今、学ぶ時間と空間を用意しているんです。最大限に活用していきましよう。

愛のエネルギーを堰き止めず、流してください。

四二 水道水も、一枚のティッシュも、一枚の万札も、0.1秒で愛のエネルギーが注入でき、その状態が変わるのに、人間の意識の世界は、0.1秒でなぜ変わらないのでしょうか。

0.1秒で変わるならば、人間の意識の世界は、どんどんどんな愛に目覚めていくはずですよ。それがなぜそうならないのでしょうか。

特に肉を持つ意識は、肉という思いがとても強いんです。肉体という形を持って、形ある世界の中で、何度も、何度も転生を繰り返してききました。

その中で、自分が肉という思いの中で生活をして、そこで無知とエゴ

と欲のエネルギーをどんどんどんどん蓄え、そのエネルギーは、心の中に本当に堆高く積み上げられた状態が、これまで、気の遠くなるような時間、続いてきたんです。

それは、想像を絶するほどの凄まじいエネルギーです。そのエネルギーを0.1秒で愛のエネルギーに変えていくことはとても、とても至難の業です。もちろん、不可能ではありません。不可能ではありませんし、ならないのではありませんが、それほど肉という思いが強いんだとご理解ください。

ただ、今も申し上げた通り、不可能ではないんです。

愛に目覚めた意識、本当に愛のエネルギーに触れ、愛に目覚めていけば、その愛のエネルギーは、0.1秒の仕事をします。つまり、その愛の工

エネルギー、パワーは、さらに自分の心の中のブラックのエネルギーを愛に目覚めさせていきます。そのパワーはすごいです。その喜びたるや、すごいものです。その喜びのエネルギーがさらに、自分の中を目覚めさせる仕事、0.1秒の速さなんです。その体験をされれば鬼に金棒だとお分かりでしょう。

優しさ、温もり、喜び、愛のパワーは、とてもとても想像を絶するものがあります。そこでその0.1秒の速さで、愛に帰るのを手助けするのが、天変地異の現象なんだということ、ここで付け加えておきます。

天変地異は喜びで必然的に起こってきます。愛に目覚めた意識が0.1秒の速さで起こしていきます。本当にすごい現象です。まさに宇宙的規模の天変地異ということ。

四三 今、私はある場所にいます。

ここは、私が主に瞑想をするときに使う場所です。愛のエネルギーを、各部屋の色々なところに注入するという作業をさせていただきました。愛を思いエネルギーを注入しました。

今、この場所に意識を向けてみます。

私達は意識です。すべては意識です。愛のエネルギーをありがとうございます。ともに、ともに学んでいきます。ここであなたは瞑想を続けています。愛へ、愛へと瞑想をしています。とても喜びです。

私達、この部屋の置物、そして壁、天井、床、すべての意識達が喜んでいきます。ともに、ともに愛を思い瞑想を続けていきましょう。ありがとう

うございます。ありがとうございます。

私達は愛に目覚める意識である、その喜びをあなたの心の中から、エネルギーとして流し出してください。そして、私達は応えていきます。

宇宙に点在する意識達に、大いに、大いに、この愛のエネルギーを流していける喜びを感じてまいります。

ありがとうございます。私達はこの部屋の意識。はい、ここにあるものすべて意識です。愛の波動に目覚めていく喜びを感じています。はい、ありがとうございます。愛のエネルギーをありがとうございます。私達も愛を流しています。私達は愛です。すべては愛です。

愛、愛、愛溢れる中で、瞑想を続けてください。喜び、喜びの瞑想、温もり溢れる、愛溢れる瞑想。愛の

エネルギーは、宇宙へ流れていきます。ありがとうございます。

四四 愛しか存在しない。愛のエネルギーしか存在しない。愛のエネルギーに満ち溢れている。

瞑想を重ねていけば、心に響き伝わってくるメッセージです。

目は映像を見て、耳は音を聞いて、口はどうでもいいようなことを発して、だけど、それらの肉体細胞すべてが醸し出す波動は優しい。温かい。そんな肉体細胞とともに宇宙を思える時間と空間に、ただただありがとうです。

瞑想をすれば、自ずと肉体細胞に思いが向き、そして肉体細胞から思いが返ってきます。喜びと優しさ、温もり、そのような中で、私の口から異語が出てきます。エネルギーと

して異語を発して、そのエネルギーは宇宙を呼んでいきます。宇宙と通じ合っている感覚を、瞑想の中で楽しみながら確認して、私は瞑想を続けます。

幸せな時間です。何も必要なかったです。思えば通じる世界の中で、ただただ思いをともに馳せられる喜びと幸せだけが響いてきます。

私は宇宙と思うだけで嬉しいです。宇宙を思い、愛を思い、そしてともに存在している喜びを思う。思うこと、思えることはすごいし、素晴らしいし、本当に幸せだと実感します。

四五 宇宙に愛を流す。

頭では到底分からないことだし、分からないことは信じられないし、それどころか全く荒唐無稽の話になってきます。

ところが不思議。目を閉じて思いを向ければ、それが現実のものとして、実感します。ブラックのエネルギーばかりを垂れ流してきたけれど、宇宙を思い瞑想をすれば、ただただありがとうで通じ合う世界が感じられます。

今、私は自分の肉体細胞とともにその喜びを感じています。肉体細胞に思いを向ければ、宇宙を思う喜びをともに感じられる喜びを伝えてくれます。ともに仕事をしていきましようと思わってきます。

こんな瞑想をする時間を、一日、一日重ねていくことが、本当に喜びだし、そうするために、私は肉という形を持つて学びに繋がったんだと、ただそう思います。

凄まじいエネルギーの坩堝るっほだった宇宙を思うことが嬉しい。宇宙に愛

を流せる。宇宙を思い瞑想を続けま
す。

四六 愛に心を向けるだけです。

愛、自分の中の愛。本当の自分に心
を向けるだけです。その優しさ、温
もり、喜び。

本当の自分をただただ思い、その
自分に優しく、優しく、そして素直
になっていきましよう。優しさが込
み上がってきます。喜びが込み上がっ
てきます。冷たい暗い苦しい中にあっ
た自分、そんな自分がすべて本当に
愚かだったことを、心で知っていきま
しよう。

肉、形の世界には真実はありません。
私達は意識。目に見えない存在
です。愛のエネルギー、愛の世界に
生きる私達。その私達の存在を、ど
うぞ、心で感じてください。

愛に帰る。愛に帰る。愛の軌道を
自分の中にはつきりと示す。それし
か道はありません。たった一つの道
を、しっかりと喜んで、ありがとう
を流しながら進んでいける喜びを共
有しましょう。

意識は流れています。愛は流れて
います。堰き止めないでください。
ただ流してください。

どこまでも、どこまで限りなく流
れていく愛のエネルギーです。

どこまでも、どこまでも限りなく
広がっていく愛のエネルギーです。

瞑想、正しい瞑想をしましょう。
宇宙は待っています。たくさん宇宙
が待っています。喜んで、喜んで、
心に向けてください。

【クボハウスのご案内】

この五月一日、ハナミズキの並木
が美しい大宝の町に、クボハウスが
完成し、一階には小ホール（クボハ
ウス一階ホール）ができました。

クボハウスの場所は、大宝の中ほ
どにある「大宝三丁目」の信号の手前、
左側にあるサムカリタデンカさんの
隣りにある三階建てです。

今後、この小ホールでの勉強会も
予定されるなど、学びの仲間の集う
場所として活用していきたいと考え
ています。どうぞ、よろしくお願
いします。

住所 大阪府南河内郡河南町大宝2-4-7



クボハウス

会員からのお便り

このコーナーは、皆様とUTA会を繋ぐページです。皆様の体験談や手記、ご意見などを、お気軽にお寄せください！

■体験談「出会い」

和歌山県 畑 美了

瞑想を継続すればするほど、頭ではわからない体験をさせて頂きます。お母さんの反省が、少しずつ自分の中で、意識付けられて来た時、忘れていた記憶が蘇ってきて、ああ、そういういえば、こんな事をしてもらったな。こんな思いを出したな。と感じるようになりました。しかし、それは、今世の母親だけの記憶でした。

でも、瞑想を重ねていると、瞑想の中で、自分には過去世があつて、沢山のお母さんがいて、そのお母さ

んに肉体をもらつて、私は生まれてきた。という感覚になってきました。そして、過去世の私は、全て自分勝手。お母さんを裏切り続けてきた、という思いが出て来ました。肉ではわからない。自分には過去世があるなんて、形で実証することもできないけれど、でも、これは自分の中の真実。今の自分だけの感情で、この私の思いがあるんじゃない。ずっと、ずっと抱えていた。ずっとずっと心を見ずに生きてきた。ずっとずっとお母さん（本当の自分）を裏切り続けてきた。そういう思いが噴き出してくるようになりました。

過去世の私の生き方は、「苦しい思いや、寂しい思い、人を羨み妬み、怒り、そんな思いは汚くて嫌。見たくない。私ではない。」とそれらのマインスの思いを切り捨て、それらを

誤魔化す物を創り出すのに、明け暮れる日々で、肉で一生懸命生きてきました。それがいいと思い、周りの人も一緒だから、私もこれで良いと濁流に飲み込まれていきました。いや、結局その濁流も、自分が創り出した物なのですが、しかし、それが自分に冷たい行為だということがわからなかった。でも、何度も死に、死後を経験し、どこか、ほんの微かにですが、濁流に流される今の生き方は、本来の生き方ではない。と、そう過去の私も感じていたように思います。

今、瞑想を続けて、過去世の自分の思いを感じる時、「自分を真実に近づけて欲しい。」という、強い思いを感じます。「この学びは、心でわかる学び。腐った頭では分かりません。」と田池先生が言っていることが、やつ

と、心で納得することが出来てきました。今の肉の私が、幸せになるために、学ぶなんて、そんな低次元の学びではなかった。その自分の間違いに気づき、間違い続けた過去世達の思いを感じた時、自分のやるべきことが見えて来ました。

自分の過去世達は、「私達を包んで下さい。お母さんの温もりに帰して下さい。」とずっと私に伝えてくれていた事を感じます。そして、今の肉の人生を振り返ると、この過去世達の思いが、この私をこの学びに繋げてくれていたのだということが肉でも分かってきました。心でも、愚かな肉でも、その事を確認した後は、肉でもとにかく、瞑想することを心掛ける毎日が変わってきました。

瞑想することが喜び。その言葉に、私の中でも徐々に深みがでてきまし

た。

そして、十八回UTA会セミナーでは、さらに不思議な体験をさせて頂きました。

榎原セミナー一回目(2013.8.30～9.2)の時に、たまたま隣に座った事がきっかけで、仲良くなった方がいました。二回目のセミナーの時には、その方とお部屋が同室になり、驚きました。偶然の出来事のように思う事ですが、何か意味がある。そんな感じがしました。

それ以来、セミナー会場で会う度、声を掛け合うようになりました。どこか懐かしく感じる方でした。

十八回セミナー二日目、その方のチャネリングがありました。そのチャネリングを聞き、何だか嬉しくて、涙が止まりませんでした。二日目終

了後、その方の姿を見つけ声をかけに行きました。

そして、その方を見るやいなや、「お母さん」という思いが噴き出てきました。「何だか懐かしい。この感覚を私は知っている。ずっとずっと会いたかった。伝えなかった。心を見ずに生きて来ました。自分という者を知らずに生きて来ました。ごめんなさい。産んでくれてありがとう。お母さん。お母さん。」これは、過去からの思いなのか、この思いが噴き出て来て、とても嬉しかったです。すると、その方が、「約束してきたのよね。」と優しく言ってくれ、更に喜びが噴き出てきました。

過去にその方に産んでもらったような感覚になりました。そして、心を見ずに生きてきた事が、本当に申し訳ないと、お母さんにも、本当の

自分にも懺悔している自分を感じました。「何としてでも、真実に出会いたい。」その思いで、今世、こうやって肉を持って生まれてきた事を強く感じました。そして、予定通り、今のお母さんから肉を頂き、この学びに出会い、そしてこうやって、心を見出してきた事、これからまた約束通り、250年後へと自分の意識を繋いで行く計画がある事が、感じられる出来事でした。

「お母さん、ありがとう。」が、響いてくる。でも、私を感じている温もりはまだまだ。これが始まりで、まだまだ無限に広がっていくものだから、なお嬉しい。

心を見れば、自分が創り出して来た色々な思いと出会い、私の学ぶ意欲を高めてくれる方との出会いも増え、本当に嬉しい日々です。

これからも心を見ていきます。それが出来る今が幸せです。

■頂いたメールより

「愛の自動販売機」

福岡県 Eさん

我が家に置いたジュースの自動販売機も愛の自動販売機にももちろんなっています。学んでいない人にもそれがわかるのでしょうか。

ジュースの補充に來られて「いつもの倍売れていますか、何か行事があったんですか」と聞かれたけど特別なことは何にもなかった。「人間はもともと敏感なんです」って本当だと思いました。

愛のジュースをたくさんの方が飲んで愛が広がる。そう思うと嬉しく

なりました。ありがとうございます。

驚きの「孫の手」

岩手県 Nさん

セミナーから帰宅した夜に早速、夫に、孫の手をお土産として渡ししました。

「うんー？」と、驚きながらも、直ぐに背中に差し込んで使っていた姿を、翌朝掃除の途中に思い出し、夫と同じ様に背中に差し込んで使ってみました。

「ああ、気持ち良いわ」と、思った途端に何とも言えない思いが湧いてくるのです！ 驚きです。

そして、「おかあさんごめんさい ありがとう うれしい うれしい うれしい」が…。

それから、「時間が経っても、孫の

手の感触が、とてもこそばがゆい感覚で持続しているなあ。」と、思いを向けてみました。

「おかあさん おかあさん アルバート アルバート」と、呼ぶ私がいきました。そして、「帰って来なさい」と、応える私がいきました。

お掃除の合間にふと、「孫の手」を使い、思い掛けなく一人ミニセミナーに展開できたことは、とてもうれしい凄い驚きの体験でした。

「愛の靴下」

東京都 Hさん

先週から、今週にかけてのことです。思い立って、愛の靴下を履いて、上からは一般的な靴下を重ねました。仕事柄、16時頃になると足

腰が動かなくなるほど、疲労します。

ところがバリバリこのまま行けると感じるくらい軽くなりました。翌日も、試して、同じように感じてしまいました。次の3日目は、履きませんでした。すると、何時ものように、立てなくなるくらいの疲労が残りました。

以前購入した5本指の絹の靴下でも、感じたことの無い、あまりの違いに驚きました。4日目、再び履いて、楽に戻りました。書きながら、まるで通販商品の、個人的感想を書いていけるような錯覚にも捕らわれそうですが、私は、いつも、HPの更新内容について行っているのかの日々です。新鮮な驚きでした。物に頼りたくないという思いと、肉体細胞へ思いを向けてこなかったことがあからさまにあつて、全てが意識とは、遙かに遠い状態です。瞑想が1分で

もできるような、自分を信じたいと思います。

アメリカ Wさん

お陰様で、私の、長年のコレステロール値が、20度、下がったと、医者から、ごく最近、喜びの通報がありました！「何故かは、分からないが、兎に角、今、あなたが、していることを、続行しなさい。」と、応援してくれているのです！

ここ、数か月、肉体細胞に、「有難う」と、毎日、瞑想で、励行しているのが、現象化しているようで、驚きました！ 嬉しいです！



メッセージ

UTA会のホームページに掲載しています『私はあなた、あなたは私、一つ』のメッセージ、一〇六から一一一までです。

一〇六 瞑想が楽しい。瞑想をすることが喜び。そういうふうになっていなければならないでしょう。

また、そういうふうになっていけば、瞑想を日々継続していくはずですよ。

瞑想をして就寝する、あるいは、瞑想で一日が始まる。それぞれの生活パターンの中で自由にやってみてください。とにかく、瞑想を習慣化してください。何かあったときに、目を閉じて心に向けようとしても、それはできません。日々の生活の中で、瞑想を習慣化して、その醍醐味を味わってください。瞑想の大切さ、瞑想の喜びを味わい、自分に用意した時間を大切にしてい

ましよう。互いに喜びの時間を味わっていきましょう。

自分の間違いに会うことは喜びだし、それが、喜びと温もりの自分に出会うことに繋がっていくことが喜びなんです。

また、お母さんを思う、田池留吉を思うということはすでに反転なんです。身構えて反転、反転は、反転ではありません。そういうことが自分の心で分かってくるんです。そういうふうになんてくるのが、自然なんです。反転は思いの世界です。言葉ではありません。反転は波動です。エネルギーです。

一〇七 意識の流れのホームページにも何度も出てきますが、もう学びは田池留吉の世界に、心の針を向けていく、合わせていく、限りなく向けてい

く、合わせていく、それ一本です。

死んで、田池留吉を呼べる自分になっているか否か、そのところにポイントを置いて、自分の肉を持つ間、一杯、可能な限り、それぞれの学びを進めてください。

誰も自分を救うことはできません。誰も自分を助けることはできません。

自分を救い、自分を助け、自分の軌道を取りなく真実に乗せていく、そのパワーは自分の中から尽きることなく湧き出てきます。

それぞれが偉大な存在です。限りなく広がっていく自分とともに、これからずっと、永遠に生き続けていける喜び、幸せな自分と出会っていきましょう。

皆さん、今世の人生を喜びで閉じてください。喜んで死んでいきましょう。そして、また喜んで生まれてきて、喜

んで死んでください。

何度かの転生を経て、必ず二五〇年後に私達と出会って、今の肉を持って学んできたことを思い出せるあなたであってください。

一〇八 正しい瞑想を重ねていけば、どなたの心にも響いてきます。

お母さんに産んでいただいたこと、今の肉体を持って学びに集えたこと、その喜びが、どなたの心にも響いてきます。

そして、自分の中の温かさ、優しさ、温もり、喜び、広がる心、瞑想の中で、どんどん感じてまいりましょう。

私達は、自分に肉体を持たせ、本当の自分との出会いを果たしていること、固く決心してきた意識です。

どうぞ、心で感じてください。心に響いてきたものを信じてください。

信じるものは、心に響いてきたものだけです。あなたの頭など何の役にも立ちません。

肉体は何のためにあるのか、今の環境が何のためにあるのか、自分はどうに存在していけばいいのか、すべて、心の中に回答があります。

ただただ、お母さんを思い、田池留吉を思い、そして、自分のこれからの思い、すべては一つの世界にあることを感じてまいりましょう。

愛は一つです。愛の中にありました。愛は私達です。私達は愛です。私達は一つです。

一〇九 愛に目覚めていくとは、自分に目覚めていくということです。

自分を捨て去り、置き去りにして、ないがしろにしてきた愚かさ、喜んで、喜んで出会ってください。

素直になって、自分の中の愛、本当の自分の存在を知っていきましょう。感じていきましょう。そして、ともに歩を進めてください。

本当の自分と歩んでいく時間、幸せでないはずはありません。喜びでないはずはありません。そういうことが全く信じられなくなってしまうんです。

幸せ、喜び、すべては自分でした。温もりも優しさも大いなるパワーも、すべては自分の世界、自分自身でした。愛に目覚めていくとは、そういうことが、ごくごく自然に分かっていくことです。だから、何も必要としないことが心で分かってきます。

パワーはありました。しかも本来のパワーは自分の中にありました。

愛に目覚めゆく道を邁進してまいりましょう。

一一〇 今世、こうしてお母さんに産んでもらって、自分のエネルギーを知ることを選び、そして、次元移行という意識の流れを心で感じていこうと伝えていただきました。

あなたはこれを千載一遇のチャンスと、本当に心でとらえていますか。

千載一遇の出会いと心でとらえていますか。

一日も早く、いいえ、一分、一秒でも早く正しい瞑想ができるように、日々努めてください。

自分達の一番身近な水とともに学んだり、自分の肉細胞とともに学んだり、また宇宙に点在する意識達に心へ向けたりと、今、肉体を持って学ばせていただけることを本当に喜んでいきましよう。

愛へ帰る道が自分の中で見えてきましたか。ただひたすら真つ直ぐに自分

の歩みを進めていきましよう。

一一一 三月のセミナーが終わって以降、瞑想を継続されていますか。

自分に誠実に素直に真摯な思いで学んでまいりましよう。焦ることは要りません。自分のペースで、しかし、自分に誠実に素直に、自分を大切に学んでいく姿勢、その姿勢がとても大切です。

心を田池留吉、本当の自分に向けて生活をし、そして瞑想を続けていく。こんな喜ばしい人生はないのではないのでしょうか。

たくさんの人達が生まれ死んでいきます。その中で、こうして、学びに出会い、学びに集い、今、自分がなぜ生まれてきたのか、なぜここにこうして存在しているのか、人生とは何か、生きるとは何か、喜びとは何か、温もり

とは何か、愛とは何か、そのように自分に問いかける時間を持たせていただいていること、こんな喜ばしいこと、こんな幸せなことはありません。どうぞ、このことをご自分の心で、しっかりと知ってください。

そうだ、そうだと頷いて、そして自分を喜びで見つけてください。

自分の流してきたエネルギーを、愛しく、愛しく、受け入れてください。

ただただ、ただただ喜び、喜びの世界があるだけです。

喜びだからこそ、こうして生まれてきました。

喜びだからこそ、間違い続けてきた自分を、何度でも見つめ直すことができます。

すべては喜び、すべては愛の中にあることを、心で知っていける自分と出会っていきましよう。

《UTA会からのお知らせ》

今年度2014年度で、6年間続きましたUTA会も終わりになることが決まりましたが、最後まで、よろしくお願いいたします。

また、ご存じの通り4月から消費税が上がりました関係で、今年度のUTA会セミナーの料金が改定になりましたので、そちらも、よろしくお願いいたします。

● UTA会会員状況とお知らせ

1) 2014年度UTA会の5月1日現在の会員数は以下の通りです。

- ・正会員 923名（海外在住者18名含む）
- ・準会員 50名（海外在住者1名含む）

2) 今年度2014年度UTA会の開催予定

今年度2014年度は、年4回のUTA会開催を予定しています。日程は下記の通りです。

◆第20回UTA会 5月11日（日）～13日（火）／前日泊 5月10日（土） 申込受付期間4月1日（火）～4月21日（月）／キャンセル連絡日4月25日（金）
◆第21回UTA会 7月13日（日）～15日（火）／前日泊 7月12日（土） 申込受付期間6月2日（月）～6月23日（月）／キャンセル連絡日6月27日（金）
◆第22回UTA会 9月21日（日）～23日（火）／前日泊 9月20日（土） 申込受付期間8月11日（月）～9月1日（火）／キャンセル連絡日9月5日（金）
◆第23回UTA会 12月21日（日）～23日（火）／前日泊12月20日（土） 申込受付期間11月10日（月）～12月1日（月）／キャンセル連絡日12月5日（金）

※ キャンセル連絡日の翌日より、キャンセル料が100%かかります。

3) UTA会セミナー料金値上げのお知らせ

4月に消費税が上がりましたので、それに伴いUTA会セミナー料を値上げせざるを得なくなりました。誠に申し訳ございませんが、ご理解をお願いいたします。

申込日程		会員料金
前日泊	夕食・朝食付	10,800円
前日泊+全日程	3泊4日8食付	31,400円
前日泊+前半1泊	2泊3日5食付	21,100円
全日程	2泊3日6食付	20,600円
前半1泊/後半1泊	1泊2日3食付	10,300円

5) 2013年度U T A会 会計報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

収入の部	収入	支出	残高
前年度繰越金	400,961		
正会員 年会費 935名分(3月31日現在929名)	1,870,000		
正会員 退会による返金 1名分		2,000	
小 計	2,270,961	2,000	2,268,961
支出の部	収入	支出	残高
[U T A会セミナー参加者へ配布費用の充当] 第19回 ミニタオルハンカチセット 727名分		508,900	
[正会員への配布物] 機関誌2冊制作費、及び発送費		490,096	
[運営経費] ホームページ運用、通信費、発送費、 事務用品費、人件費等		642,873	
小 計		1,641,869	
2012年度 U T A会 経費合計残高	収入	支出	残高
収入の部 合計	2,270,961		
支出の部 合計		1,643,869	
合 計	2,270,961	1,643,869	627,092

(単位：円)

● 次回のU T A会セミナーのご案内

1. 開催日時と場所(遠方から参加される方のために、前日泊も設けています)

① 開催日程

◆第21回U T A会

2014年7月13日(日)～15(火) 参加人数800名

2014年7月12日(土) 前日泊 参加人数300名

13日(日) 13:30～17:00(12:00開場)

席決めの抽選を12:45より行います。

14日(月) 10:00～17:00

15日(火) 10:00～12:00(会場は14:30まで使用できます)

【申込受付期間】 2014年6月2日(月)～6月23日(月)

【キャンセル連絡日】 2014年6月27日(金)

※ キャンセル連絡日の翌日より、キャンセル料が100%かかります。

② 会場 琵琶湖グランドホテル

〒 520-0101 滋賀県大津市雄琴 6-5-1 / TEL 0775-79-2111

2. 参加申込日程と参加料金 (料金にはセミナー会場使用料も含まれています)

申込日程		会員料金
前日泊	夕食・朝食付	10,800円
前日泊+全日程	3泊4日8食付	31,400円
前日泊+前半1泊	2泊3日5食付	21,100円
全日程	2泊3日6食付	20,600円
前半1泊/後半1泊	1泊2日3食付	10,300円

※ 初めて参加される方の参加料は、会員と同じです。但し、会員でない方のUTA会参加は、初回のみとさせていただきます。

※ 小学生、幼児は別料金になりますので、ホームページをご参照ください。

3. 申込方法について

① 申込受付期間内に、お近くの郵便局に備え付けの青い振替払込書にて、UTA会セミナー料金をお振り込みください。それで受付とさせていただきます。

② 振替払込書に、氏名、会員番号、申込日程を、必ず明記してください。布団、食事を必要としないお子様の名前、年齢も、ふりがな、必ず明記してください。

※ 複数名でお申し込みの場合は、それぞれの氏名、会員番号、申込日程を必ず明記してください。

※ 同室希望については、下記の同室条件の方のみ申し込みを受付させていただきます。

[同室希望の条件]

① 80才以上の高齢の方で、家族等の介護が必要な方。

② 今現在、病気治療中で、家族または他者の介助がなければ参加の難しい方。

③ 小さいお子様をお連れの方。(原則として、お子様はお母様、または保護者の方と同室になります。)

[同室希望の申込み]

上記の条件を満たし同室を希望される方は、参加費用を振り込む前に、久保幹事長へ電話をされて、同室希望の了解を得てください。その後、郵便局から参加費用をお振り込みください。

(久保幹事長の了解を得ずに、振替払込書に記載された同室希望は無効とさせていただきますので、ご了承ください。)

※難聴者席については、セミナー会場の壁側に椅子席を設けさせていただきます。
難聴者席をご希望の方は、申し込みの振込用紙に明記してください。

[連絡先]

久保幹事長 TEL 090-8941-7320 (電話番号が変更になっています)

※簡易ベッドについては、第8回U T A会より有料となりました。

簡易ベッドをご希望の方は、ベッド代として1泊につき500円の代金を、セミナー料に加えて一緒にお振り込みください。

なお、簡易ベッドのご希望は、車椅子をご利用の方、または病気等でどうしてもベッドが必要な方のみとさせていただきます。また、ベッドのご希望に添えない場合には、その旨、ご了承いただきたいと思えます。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

※会員でない方が、初めて参加される場合は、振込払込書に、氏名、ふりがな、申込日程、住所、電話番号、性別、年齢、メールアドレスを明記してください(性別、年齢等はU T A会の部屋割りに、メールアドレスは受付確認メールの送信に必要となります)。

但し、会員でない方のU T A会参加は、初回のみとさせていただきます。なお、会員でない方の参加は、今までに開催されたセミナー、勉強会等に一度も参加されたことのない、まったく初めての方のみ、受け付けさせていただきます。

③ 振込先(振込口座番号、入金金額は、必ず確認をお願いいたします)

口座番号：01700-5-140092

加入者名：U T A会

④ 入金の確認ができ次第、U T A会受付確認のメールを送信いたします。

なお、郵便振替払込書がこちらの手元に届くまでには4日間ほどかかりますので、確認メールの到着までには、一週間ほどお待ちください。また、メールアドレスをお持ちでない方へは、ハガキにてお知らせいたします。

4. キャンセルについて

- ・キャンセル連絡日までのキャンセルはメールで、また、キャンセル連絡日を過ぎてのキャンセルは、必ず、久保幹事長まで電話にて連絡をお願いいたします。
- ・キャンセル連絡日までのキャンセル料は、無料です。
- ・キャンセル連絡日を過ぎてのキャンセル料は、総額の100%です。
- ・U T A会当日にキャンセルされる場合でも、必ず、久保幹事長まで電話連絡をお願いいたします。

(なお、久保幹事長の連絡先は最終ページに掲載しています。)

5. 参加についてのお願い

(第18回UTA会より変更になりましたので、必ず、ご確認をお願いいたします)

- 1) 参加のお申し込みは、必ず、申込受付期間内をお願いいたします。
- 2) 義務教育中のお子様の学校を休んでの参加、または幼児、小、中学生の保護者同伴なしで参加することはできません。
- 3) 家族(夫、妻、舅、姑、子供…)に、UTA会への参加を反対されている人、または家族、職場に対して嘘をついている人は、参加することはできません。
- 4) 参加費用を借金している人は、参加することはできません。
- 5) 宿泊セミナーをお申し込みの方で、セミナー会場以外のホテルに宿泊して参加することはできません。
但し、事情によっては幹事長の了解を得ての参加は可能の場合があります。
- 6) ホテルや他の宿泊客に迷惑をかける人、またはUTA会の進行を妨げるような行動を取る人は、参加することはできません。
- 7) 参加者同士がトラブルを起こした場合、当事者間で解決が見られるまで、参加することはできません。
- 8) セミナー期間中に個人的な物品の販売は、お止めください。
- 9) ーお子様を同伴される方にー

セミナー会場の外に、お子様達の過ごす「子供部屋」を1室設け、セミナーのライブ配信を行っています。

セミナー中は、お子様達は全員「子供部屋」にてお過ごしいただき、保護者の方、または保護者の方々と話し合っただけで交代にするなどして、責任を持ってお子様達の面倒を見るようにしてください。

会場内で静かにできるというお子様もおられるかもしれませんが、参加しているお子様は全員、こちらの部屋のご利用をお願いいたします。

また、セミナー時間中に、ホテル内のロビー、廊下、休憩スペース等で、お子様達を遊ばせるのは、ホテルや他の宿泊客に迷惑がかかりますので、おやめください。

さらに、音の出るおもちゃは持ち込まないようにしてください。

但し、小学校高学年で、自分で勉強しようとセミナーに集中されているお子様は、会場にてご参加いただいても構いません。

6. セミナー会場の座席、及び開場時間についてのお願い

毎回、セミナー会場での座席は抽選くじで決めさせていただいておりますが、抽選くじで当たった番号以外で座る方や、友達同士で抽選くじ番号以外で纏まって座る方がいるなど、参加者の方々から苦情が寄せられております。また、セミナー会場の椅子席が足りなくなる状況が出ています。そこで、セミナーに参加される皆様へのお願いです。

① 座席について

セミナー会場での座席は、田池先生ご夫妻、塩川さん親子、UTA会責任者の久保

夫妻の6人以外の方は、必ず、抽選くじを引いて、当たったご自分の番号でお座りください。友人等、他人の番号で座るのはおやめください。また、家族で参加されている方は、抽選くじは家族で1枚引いていただき、その番号でお座りください。

なお、初参加の方の席は、こちらで「初参加者席」という紙を置いた席を用意しますので、そちらにお座りください。初参加者を紹介された方も一緒に座ってくださって結構です。

②椅子席について

毎回、足の悪い方、ご病気の方、高齢の方、難聴の方、初参加者のために、椅子席を用意しております。セミナーは床に座って受けていただくのが基本となっております。ご事情により、長時間、床に座るのが辛い方のための椅子席ですので、健康な方は抽選くじを引かれて、床に座ってご参加ください。

③セミナー会場の開場時間について

セミナー会場の開場は12時です。セミナーの準備等がありますので、開場時間前にセミナー会場に入るのはご遠慮ください。開場時間まで、ロビー等でお待ちください。

※ セミナーに参加されている方は、どなたも前へ座りたいというお気持ちは分かりますが、抽選で座席を決めるというルールをお守りいただきたいと思います。

なお、抽選時間前にハンカチ等で座席を取られている場合、また、12時開場前に椅子席にハンカチ等で席を取られている場合は、ハンカチ等を撤去させていただきますので、予め、ご了承ください。

7. 会場ホテルへのアクセス

・電車をご利用の方

大阪・東京方面→JR京都駅→JR湖西線「おごと温泉駅」下車(JR京都駅より20分)
→琵琶湖グランドホテル(JRおごと温泉駅よりホテルの送迎バスにて5分)

・自動車をご利用の方

大阪・東京方面→名神高速道路 京都東IC→西大津バイパス仰木雄琴IC→
国道161号線→琵琶湖グランドホテル(仰木雄琴ICより5分)

【WEB瞑想会のご案内】

UTAブック主催で開かれていたWEB瞑想会は、6月を持って終了させていただきましたことになりました。今まで多くの皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。

【UTAブックからのお知らせ】

UTAブックのホームページより、セミナー、瞑想会、ミニ勉強会等のライブ配信、または録画をご覧くださいことができます。

- ※ ライブ配信をご覧くださいには、今までどおり、UTA会よりお知らせしたパスワードを入力してください。
- ※ 録画配信をご覧くださいには、4月から方法が変わり、有料となりました。録画配信の視聴を希望する場合は、UTAブックへお申し込みください。年間登録料は個人の方は5,000円、家族の方は8,000円です。登録後にUTAブックよりパスワードとIDが送られてきますので、各自に届いたパスワードとIDを入力してご覧いただけます。詳しくはUTAブックへお問い合わせください。
- ※ 愛の円盤、愛の靴下をご希望の方は、UTAブックへお問い合わせください。

【UTAブックの連絡先】

ホームページのURL <http://uta-book.com/>

TEL 0721-21-4712

【UTA会 連絡先】

- ・お問い合わせは、UTA会サポートまでメールでお願いいたします。
メールアドレス：support@utakai.net
- ・キャンセル連絡日までの変更、及び、キャンセルは、上記UTA会サポートまでメールでご連絡ください。
また、キャンセル連絡日を過ぎての変更、およびキャンセルは、久保幹事長まで電話にて、ご連絡ください。
また、同室希望のお問い合わせも、久保幹事長まで電話にて、ご連絡ください。
- ※ UTA会のホームページ (<http://utakai.net/utakai/index.html>) でもセミナーの案内等を掲載しています。ぜひ、ご参照ください。

【連絡先住所】

〒585-0005 大阪府南河内郡河南町大宝 3-8-25

UTA会事務サポート 中村康一

TEL 0721-21-1814

私事ですが、この4月より中村商店をオープンさせていただきました。水素水関連の商品、愛のグッズの販売、およびRO浄水器のカートリッジ交換作業をさせていただいています。RO浄水器のカートリッジ交換のために、学びの仲間のお宅へ伺わせていただく機会も増え、楽しみながら仕事をさせてもらっています。どうぞ、よろしくお願いたします。

中村商店 TEL : 0721-21-1814

E-mail : info@naka-shop.com

